

令和 6 年 4 月 1 5 日

長岡市長 様

《申請者》 住 所 〒940-0062

長岡市大手通 1-4-10

団 体 名 長岡の星空を守る会

(職名) (氏名)
氏 名 代表 長岡 一郎

電 話 番 号 0258-39-2291

長岡市未来を創る市民活動応援補助金交付申請書

長岡市未来を創る市民活動応援補助金交付要綱第 6 条の規定に基づき、関係書類を添えて次のとおり申請します。

1. 事業の概要

事業名	みんなで見よう！長岡の星空
事業概要	※どのような事業を行うか簡潔に記載 長岡市内の天体観測スポットマップ作成と、オリオン座流星群の出現に合わせた天体観測会の実施
実施期間	※準備も含めて事業に要する期間 令和 6 年 7 月 1 日 から令和 6 年 10 月 20 日 まで
実施場所	山古志□□キャンプ場 広場
申請額	(1) 補助限度額 (補助対象経費が 10 万円以下の場合は①に補助対象経費を記入) 補助対象経費 補助率 ① 10 万円 + (260,700 円 - 10 万円) × 0.8 = 228,560 円
	(2) 補助希望額 総支出額 自己資金 ② 260,700 円 - 67,700 円 = 193,000 円
	(3) 補助金交付申請額 (①と②のいずれか低い方の 1,000 円未満を切り捨てた額) 金 193,000 円

2. 団体の概要

設立時期	※前身となる団体から活動内容を引き継いでいる場合は、実質活動年数も記載 令和2年4月（実質活動年数4年0ヵ月）		
収支状況	(1) 年会費（1人あたり） 5,000 円	(2) 直近年度の収入 150,000 円	(3) 直近年度の支出 120,000 円
構 成 員	(1) 人数 30 人	(2) 申請事業に主体的に関わる構成員氏名 長岡二郎、長岡三郎、長岡花子	
設立経緯	※団体設立に至った経緯（関連団体がある場合は、その団体との関係性も記載） 有志で長岡市近郊で天体観測を不定期に開催していたが、市街地の子ども会からの依頼を受けて、夏休みに合わせて子ども達と天体観測を行った。その際、子ども達の驚く顔や喜ぶ顔を見て、継続した活動を実施していくことを決定。「長岡星空クラブ」を平成20年に設立して、会費から子供向けの星座観測盤や、夜間の防寒用品を徐々に整備してきた。令和元年には山古志地域内の空き家を利用して簡易プラネタリウムを整備。稼働に合わせて会の名称を「長岡の星空を守る会」と改めた。		
活動目的	※団体がやりたいこと・社会的な役割 子供たちに星空の美しさに触れてもらうとともに、星空が見える環境を維持する。		
活動実績	※イベントごとの受益者数やアピールポイント等（実績のない団体は記載不要） 平成18年4月：有志で天体観測を開始 平成20年8月：「長岡星空クラブ」設立。会員数12名。 平成30年4月：簡易プラネタリウムを整備するため、山古志地域の空き家を購入（代表名義） 令和元年4月：簡易プラネタリウムの稼働。会の名称を「長岡の星空を守る会」に改める。会員数25名。 定例活動として毎月1回の定例観測会と、年に5回程度の流星群観測会の実施。依頼があった場合は不定期で星空に関するワークショップを開催している。		
その他	※団体のホームページ、ブログ、SNSのURL等 https://www.city.nagaoka.niigata.jp/ （公式ホームページ）		
連 絡 者	※代表者と同じ場合は email のみ記載（申請に係る書類は連絡者宛てに送付します）		
	住 所	〒940-0084 長岡市幸町2-1-1	
	氏 名	長岡 二郎	申請団体での役職（なければ記載不要） 会計
	e m a i l	simin-kyodo@city.nagaoka.lg.jp	
電話番号	0258-39-2020	日中連絡可能な時間帯 いつでも	

3. 事業の計画

目的	<p>※申請事業により実現したいことを記載 長岡の子ども達が星空に興味を持つきっかけを作りたい。</p>			
背景	<p>※申請事業の動機や発端となったことを記載 街路灯や電飾など、夜間も明るく便利になった反面、光害により星空が見える環境が限られてきている。また、天体観測は通常夜間に行うため、初心者が観測するには安全上のリスクが高く、マナーも理解していないことが多いことから周辺住民の迷惑となりかねず、団体として初心者と地域住民の双方にとってメリットのある仕組みをつくりたいと考えた。</p>			
対象者	<p>(1)主なターゲット 中学生以下の子どもとその保護者</p>	<p>(2)関与する構成員 30人</p>	<p>(3)参加者 50人</p>	<p>(4)ボランティア等 10人</p>
事業内容	<p>※いつ・どこで・何を・誰に・どのようにを具体的に記載 ○天体観測スポットマップの作成 市内の公共施設等、安心して天体観測ができ、周辺住民に迷惑がかからない天体観測スポットと、楽しみ方やマナーを掲載したものを作成する。 また、掲載する施設は、施設管理者の許可を得られたもののみとする。 [仕様・部数] A4 二つ折りフルカラー 4,000枚 [完成] 8月末 [配布場所] 市内公共施設、学区内の小中学校 [協力] NPO 法人△△天体観測協会 ○天体観測会の実施 オリオン座流星群の出現に合わせ、ワークショップと天体観測会を開催する。ワークショップでは天体観測マップを使用して、銀河系の成り立ち、流れ星の仕組み、天体観測のマナーを学ぶ。観測条件が悪い場合は天体観測を中止し、簡易プラネタリウムの鑑賞（会員による説明付き）を行う。 また、地域住民からの協力を得て、夕食として豚汁をふるまう。 [実施日] 令和6年10月20日（日） ①午後7時～ワークショップ ②午後8時30分～天体観測 [場所] 山古志□□キャンプ場 広場 [参加費] 中学生以上 500円、小学生 300円、未就学児無料 [集客目標] 50人 [後援] 長岡市教育委員会（予定）[協力] NPO 法人△△天体観測協会 [周知方法] 公共施設及び学校へのチラシ配布、市政だよりへの掲載、SNS</p>			
実施日程	<p>※申請事業の準備から完了までのスケジュール 7月初旬 天体観測マップ編集会議（～8月中旬まで隔週で実施） イベントの企画会議（上記編集会議に合わせて同時開催） 7月下旬 施設管理者との協議、地域住民への協力依頼 案内看板設置のための道路占用許可の申請 8月下旬 マップ及びイベントチラシの完成・配布、広報開始 10月17日 観測場所の除草（施設管理者の許可を得て実施） 10月20日 天体観測イベントの開催</p>			

4. 今後の見通し

事業効果	<p>※申請事業が地域・社会にもたらす効果（事業の目的を踏まえて記載）</p> <p>市街地の子ども達が安心して天体観測ができる基盤が整う。 山古志地域は市街地から比較的容易にアクセスできる一方、周辺を山に囲まれているため光害が少なく天体観測に適しているという地の利を地域住民から認識してもらおう。また、そのような地域資源を活かしたイベントを継続開催することで無理をせず、金をかけずに交流人口が増え、中山間地域の活性化が図られる。</p>
事業展開	<p>※申請事業の3～5年後の目標（資金調達や人材の確保・育成の方策等）</p> <p>本補助事業で実施した天体観測イベントと、天体観測スポット施設管理者・周辺住民への協力依頼を継続して実施。 天体観測会の年間開催数を徐々に拡大しながらイベントを地域に定着させ、光学メーカーやアウトドア用品販売店からの協賛金を得られるようにしたい。</p> <p>2年目 協力企業の拡大 3年目 天体観測スポットの環境整備（草刈り、道路補修） 4年目 地域住民の協力を得て観測スポット周辺ライトダウンの実施 5年目 人材育成及び会員獲得のため講座を定期開催</p> <p>最終目標として、地域住民、協力企業を交えた協議会を設立。天体観測の実施地域も栃尾・小国・川口に拡大させながら、地域イベントとして開催を定着させたい。</p>
団体の自立	<p>※申請事業の具体的な資金調達方法を記載（補助金に依存しない運営を目指してください）</p> <p>天体観測イベントの付加価値を向上させ、5年後を目途に参加費1,000円を目指す。（金額の妥当性については、参加者アンケートにより判断） また、天体観測マップへの企業広告掲載による広告収入、イベント時の出店者からの出店料収入により安定した財源を確保する。</p>
不採択時の対応	<p>※不採択または補助申請額が満額認められない場合の対応</p> <p>天体観測マップは作成を見送り、イベントは規模を縮小したうえで、団体会計からの繰入額を増やして実施する。</p>

5. 事業収支予算

区分	項目	金額	単価・数量・用途など	審査結果 (長岡市使用欄)
収入	本補助金	198,000 円		円
	自己資金	67,700 円	参加費 (500 円×35 人、300×15 人) 協賛金 (4 社×10,000 円) 寄付金 (5,000 円) 団体会計から繰り入れ (700 円)	円
	合計	260,700 円		円
支出	報償費	20,000 円	NPO 法人△△天体観測協会 2,000 円×2 人×4 回 (マップ監修) 2,000 円×2 人×1 回 (イベント時ガイド)	円
	旅費	12,700 円	NPO 法人△△天体観測協会 中之島見附～長岡 1,270 円×往復×5 回	円
	印刷製本費	100,000 円	天体観測マップ @20×4,000 部 イベントチラシ @10×2,000 円	円
	消耗品費	41,000 円	蛍光リストバンド 5 本 100 円×10 セット 簡易懐中電灯 400 円×10 本 断熱マット 1,000 円×25 枚 非接触型体温計 2,000 円×2 個 使い捨てカイロ 2,500 円×2 箱 使い捨て食器 100 個 2,000 円×1 セット	円
	原材料費	50,000 円	案内看板用木材 一式 30,000 円 ふるまい用豚汁材料費 90 人分 20,000 円	円
	借上費	20,000 円	イベント用テント (1 泊 2 日) 4 張× 5,000 円	円
	謝金	5,000 円	ふるまい用豚汁調理謝金 5 人×1,000 円 (地元婦人会に依頼)	円
	食糧費	5,000 円	ボランティア弁当代 (500 円×10 名)	円
	保険料	7,000 円	イベント参加者保険料 100 円×50 人 ボランティア保険料 200 円×10 人	円
			円	円
	合計	260,700 円		円

※収入と支出の合計額は一致します。事業内容と整合性が取れているか必ず確認してください。

【添付資料】・・・(5) と (6) の資料は申請額 50 万円を超える際必須

- (1) チェックリスト
- (2) 構成員名簿
- (3) 申請事業の参考となる資料
- (4) 見積書等金額の根拠がわかるもの (10 万円以上の経費)
- (5) 会則等の規約
- (6) 前事業年度の収支決算書